人とAIでつくる作品（役割と責任）

人とAIが協力して作品をつくるとき、だれが何を受けもつのだろう

作品の例： **地域をしょうかいするパンフレット（架空）**

	1 決める	2 案を出す	3 選ぶ	4 下書き・直す	5 仕上げる
人 すべての段	何を、だれに伝えるかを決める **目的を決める**	自分たちの案を出す **考えを出す**	どの案を使うか話し合って選ぶ **判断する**	事実を確かめ、自分たちのことばに直す **確かめる**	取材した写真や自分でかいた絵を入れて仕上げ、発表する **表現する**
AI 手伝う段だけ	使わない	案をたくさん出して、考えを広げる	使わない	下書きの文を出す（まちがいがあることも）	使わない

役割と責任で気をつけること

作品の責任は人にある
AIの案を使うと決めたのも、仕上げたのも人

AIを使ったところを書く
どこでAIを使ったか、調べた本やサイト（出典）も書く

人の作品に似せない
ほかの人の絵や文章に似せるよう頼まない。似ていたら使わない

※ 例は架空。AIを使うかどうかは、学習の目的と学校のきまりで決める。コンクールなどは、応募のきまりも確かめる。